

君津市社会教育施設の再整備 第1期プラン

(素案)



令和2年 月 日

君津市教育委員会

目次

1	第1期プランについて	1
2	基本的な考え方	3
3	具体的な取組み	4
	（1）公民館機能の継続	5
	（2）図書館サービス網の再構築	5
	（3）博物館機能の展開	5
4	複合する機関・機能とともに清和の活力を向上	6
5	地域の安全・安心の拠点としての活用	6
6	スケジュール	7
7	旧秋元小学校跡施設活用のイメージ	8

1 第1期プランについて

君津市教育委員会では、平成29年2月に「君津市社会教育施設等の整備・運営方法等についての指針」（以下「指針」。）を策定し、社会教育施設やスポーツ施設、君津市民文化ホールなどについて、効率的な施設の維持・更新と運営の工夫や見直しで、社会教育、スポーツ、文化活動を発展させる方向性を示しました。

この指針に基づき、平成31年3月に、今後の社会教育施設の維持・更新、運営等についてのマスタープランとなる「君津市社会教育施設の再整備基本計画」（以下、「基本計画」）を策定しました。

また、君津市では平成29年3月に策定した「君津市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の効果的な再配備を進めるために、令和元年度に「きみつまちづくりプロジェクト」を実施しています。

本プランは、指針と基本計画にもとづく第1期実施プランとして、「きみつまちづくりプロジェクト」におけるご意見なども参考に、学校再編で新たな時代を迎える清和地区における、清和公民館の移転を軸とする社会教育施設の再整備についてまとめたものです。

清和公民館は、地域住民の交流、学習活動の場として機能してきました。

また、清和公民館に併設された図書分室や、ロビーの秋元城跡関係資料の展示スペースでは、図書サービスや、郷土への愛着を深めることのできる展示なども行い、まさに地域の社会教育の拠点の役割を果たしてきました。

清和地区は様々な魅力を持つ地です。本プランにより、清和地区における社会教育施設を効果的、効率的に再整備し、今後の清和地域の活力向上をはかります。

「君津市社会教育施設の再整備基本計画」

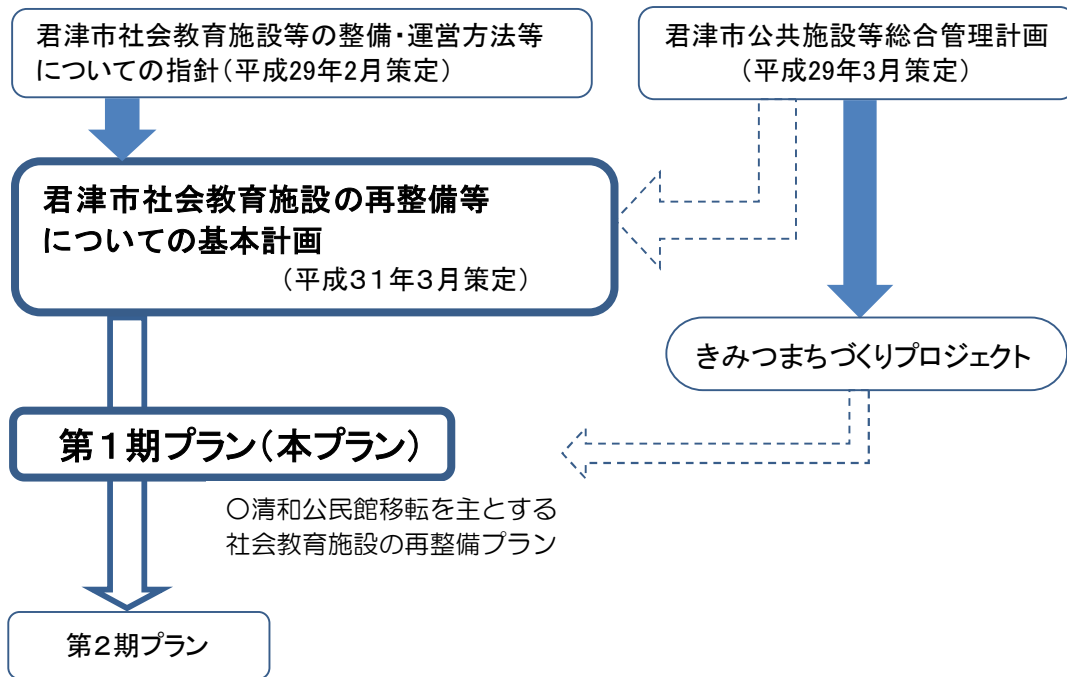
- 人と地域をつなぐステーションとしての公民館機能の継続
- 知と情報のステーションとしての図書館サービス網の再構築
- 「ふるさと君津」学習ステーションとしての博物館機能の展開



「君津市社会教育施設の再整備基本計画第1期プラン」（本プラン）

「第1期プラン」における主な取組み
清和公民館の移転を軸とした社会教育施設の再整備

〈計画の体系図〉



〈第1期プランにおける取組み〉

<p>「君津市社会教育施設の再整備基本計画」 (平成31年3月策定)</p>	<p>第1期プラン 清和公民館の移転を軸とした社会教育施設の再整備</p>	
<p>公民館機能の 継続</p>	<p>清和公民館を移転し、清和地区における地域拠点として機能させます。</p>	<p>令和4年度 (2022年度) 完了目途</p>
<p>図書館サービス網の再構築</p>	<p>「清和分室」を(仮)「図書サービスコーナー」として設置します。</p>	
<p>博物館機能の展開</p>	<p>文化財資料等の活用スペースを設置します。</p>	

2 基本的な考え方

旧秋元小学校跡施設の効果的な再活用による 清和地区の地域活性化ステーションづくり

清和地区は人口減少、少子高齢化などの課題があります。

一方、鹿野山を中心とする豊かな山並みとダム、ハイキングコース、キャンプ場など、観光資源が豊富です。

伝統文化活動も盛んで、歴史・自然の魅力あふれる地域です。

地域づくり、まちづくりに対する住民の機運も高く、新たに移住される方もあり、今後の地域の新たな可能性を広げる要素が多くあります。

また、学校再編により、これまで子どもたちの教育を支え、地域の拠点となってきた小学校の跡施設の活用が可能です。

そこで、**清和公民館に隣接している旧秋元小学校の跡施設活用により、清和公民館を移設し、図書館サービス、文化財資料活用などの機能と合わせ、清和地区の魅力や可能性を活かす役割を果たします。**

<地区の状況>

- ・65歳以上の割合が人口の約48%（平成30年3月末時点）となり、お年寄りの見守りなど、**自助・公助・共助のネットワークづくり**が重要となっている。
- ・学校再編により、地域と学校が新たな時代を迎える中で、**地域と学校、地域同士の新たな絆をさらに深める取り組み**が重要となっている。
- ・特色ある伝統文化活動は、地域・君津市の宝だが、後継者不足が課題となっている。

<地区の可能性>

- ・**地域づくりへの意欲が高い**
- ・豊かな自然、伝統文化など、**魅力的な地域資源・観光資源が豊富**
- ・都市から移り住むかたもあり、新旧住民の交流が**新たな活力を生む可能性**を持つ

清和地区における社会教育施設の役割

公民館、図書館、博物館の機能で、清和の特色、魅力を活かした事業展開と、住民の学習・地域活動・地域内外の交流を活発にする事業を通じて、清和地区の活力向上をはかります。



3 具体的な取組み

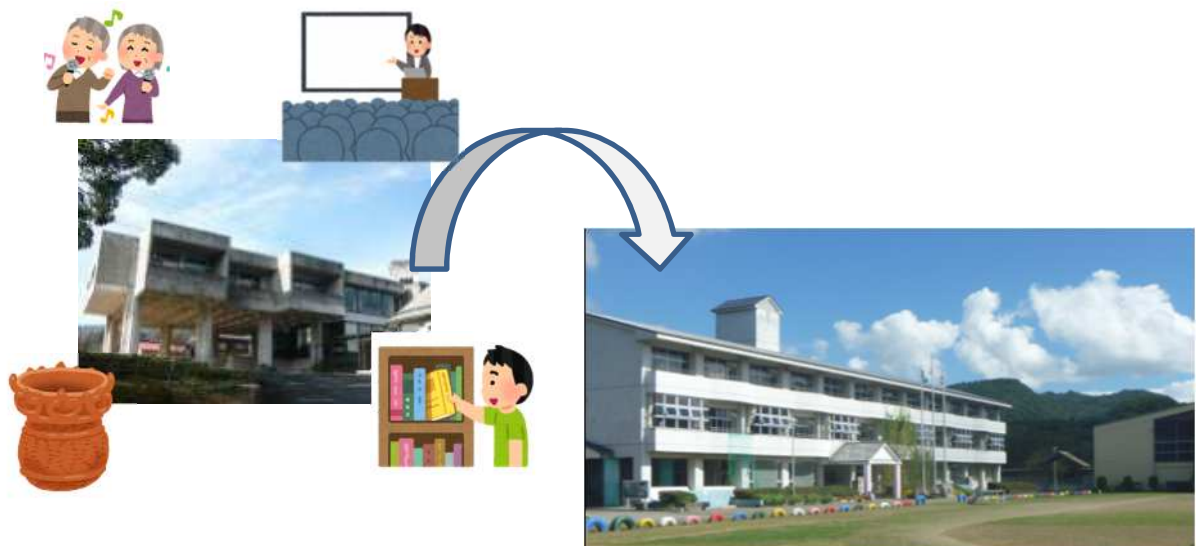
旧秋元小学校跡施設の再活用により社会教育施設を設置します。

- (1) 清和公民館を移転設置します。
- (2) (仮) 清和図書サービスコーナーを設置します。
- (3) 文化財資料等の活用・保管スペースを設置します

○公民館、図書館、博物館の機能が融合し、**清和地区の地域活性化をはかる様々な学習や地域活動を支える拠点**としての役割を果たします。

○跡施設の再活用にあたっては、リノベーション（新たな使用価値を生み出す改修）など**経済性に優れた方法**で行います。

○公民館の校舎転用にあたっては、「君津市公共施設等総合管理計画」の考え方と、現在の清和公民館の各部屋の利用状況や地域の状況に鑑み、面積、設備などを吟味します。また、図書、文化財資料の活用のスペースは、教室以外のスペースの有効活用も視野に入れ、効果的に設置します。



旧秋元小学校跡施設を有効活用し、人々の交流、学習、地域活動などに役立つ公民館と、図書・文化財資料活用の場を設置します

(1) 公民館機能の継続 —清和公民館の移転設置

- 暮らしの課題解決に資する事業や、地域に出向く事業などを展開し、清和地区の学習活動や地域活動を支援します。
- 秋元地区と三島地区との交流、清和小学校・周東中学校と清和全体の交流を深める事業を展開します。
- 地域の支え合いの輪づくり、子どもたちの安全・安心な遊び・学びの場づくり、清和の魅力発信などを促す事業を展開し、住民の力で清和の活力を生む取組みを、積極的に支援します。

(2) 図書館サービス網の再構築 — (仮) 清和図書サービスコーナーの設置

- これまでの図書館の清和分室を「(仮) 清和図書サービスコーナー」として設置し、「小糸・清和ゾーン」における図書館サービス網を再構築します。
- 「(仮) 清和図書サービスコーナー」は、“身近な図書館サービス”として、新刊本や児童書、清和にゆかりの深い資料の提供などを行います。
- 清和小学校の図書室とのバランスのよい資料配置を行い、**学校図書館の機能を支援**します。また、より**高度な資料などは分室や中央図書館と連携**し、子どもたちの調べもの学習などを支援します。

(3) 博物館機能の展開 —文化財資料等を活用し「ふるさと君津」を学べるスペースの設置

- 「ふるさと君津」を学べるネットワークを充実させるため、これまでの清和公民館のロビー展示スペースから発展した、文化財資料等の活用スペースを設置します。
- 清和・小糸地区を中心とした小糸川流域の“モノ”と“フィールド”を活用し「地域のお祭りや伝統芸能」「房総半島中央部の自然」「小糸川流域の歴史」などの題材で、**資料の活用や体験の機会**を提供します。
- 学校に対し、**地域の文化資源に触れる学習支援の充実**をはかります。

4 複合する機関・機能とともに清和の活力を向上

複合する各施設の機能、複合化による利用者の幅の広がりなどを活かし、清和地区の教育の向上、地域の活性化をはかります。

○地域の向上をめざす様々な取組みには、同じく旧秋元小学校跡施設を活用し、設置する清和行政センターや清和保育園と協力しあい、相互に地域活性化を図ります。

○複合施設になることで、新たな利用者の広がりも期待されます。これまでに以上に、より多くの人に役立つ事業や、新たな交流を広げる事業などを展開します。

○これまで地域から出されている、旧秋元小学校跡施設活用のイメージや希望などは、新たに移転する清和公民館でできるものや、スペースが別に必要なものなど、内容に沿って柔軟に検討します。

<活用の例> ・地域団体・ボランティア団体等の活動の場
・子どもの居場所・学びの場
・スポーツに親しむ場
・地域の魅力を生かす交流の場
・ユニークなアイデアで地域に活力を生む場

など

※地域からの活用希望の検討は、子ども達の教育を支え、地域のよりどころとなってきた学校の意義や、具体的な運営の展望などをもとに、全庁的に検討を進めます。

※旧秋元小学校への移転完了とあわせ、現清和公民館本館施設は、使用を終了します。また、多目的ホールは、民間事業者による利活用の可能性なども含め、幅広い視野で検討します。

5 地域の安全・安心の拠点としての活用

清和公民館が果たしてきた、防災・減災の役割、避難所の機能などを継続させます。

令和元年9月～10月にかけて本市を襲った台風15号・19号・集中豪雨では、各公民館が避難所として、重要な役割を果たしました。

清和公民館では、日常の主催事業などで深めてきた地域のネットワークと、地域のみなさんの協力により、長期にわたる避難所の運営を円滑に進めることができました。

清和公民館は、施設としての避難所の役割はもとより、いざというときに役立つ人と人とのつながりを深める役割を果たしています。今後も、地域に根ざした防災・減災に役立つ取組みや、避難所としての機能を継続させます。

現清和公民館には、老朽化による雨漏りやトイレなど、避難所としての課題もありますが、校舎転用により、それらの課題も効率的に解消させます。



(地域のみなさんの協力による助け合い活動 令和元年台風15号)

6 スケジュール

	清和公民館、(仮)清和図書サービスコーナー、文化財資料等の活用スペース設置	旧秋元小学校跡施設の有効活用による複合施設等の機能
令和2年度 (2020年度)	第1期プラン策定／設計着手	複合施設等の調整／設計着手
令和3年度 (2021年度)	設計・改修工事等	設計・改修工事等
令和4年度 (2022年度)	改修工事終了／引越し等	
	引越し完了後、速やかに使用開始	

スペースの有効活用の調整は引き続き柔軟に取り組めます

7 旧秋元小学校跡施設活用のイメージ

コンセプト **清和地区の地域活性化ステーション**
 (親しみやすい施設名称の公募なども検討)



清和地区の社会教育の拠点機能

- 清和公民館
- (仮)清和図書サービスコーナー
- 文化財資料等の活用スペース



清和地区の地域の活性化、利便性向上に資する機関・機能

- 清和行政センター
 - 清和保育園
 - その他機関・機能
- など

コラボレーションで双方の活カアップ

地域の社会教育機関として

- ・地域活動・学習活動の活性化
 - ・清和・君津への愛着の深化
 - ・交流の創出、人材発掘
 - ・新たな連携の発展
- などに役立つ事業展開

複合する機関・機能として

- ・身近な行政の窓口
- ・地域との交流を大切にする保育の場
- ・子どもの居場所・学びの場
- ・ユニークなアイデアで地域に活力を生み出す活用 など

清和地区の活力向上、安全・安心の向上

<参考> 旧秋元小学校跡施設再活用の利点

- ・比較的新しく、耐震性があり、リノベーションにより十分活用ができます。
- ・様々なスペースを活かした複合施設とすることで、地域活性化に役立つ多様な活用が可能です。
- ・避難所としての機能も維持・発展できます。
- ・現行の教室、特別教室は、社会教育施設として十分活用でき、改修、新築等に比べ更新経費の節約が可能です。
- ・現行の清和公民館の大規模修繕では、構造的にバリアフリー化が困難で、経費が大きくなります。